

2011年6月12日(日)

13:30 開場 / 14:00 開演

近江楽堂 東京オペラシティ3階・京王新線「初台駅」直結

全席自由 4,000円

[プログラム]

子守歌、歌 ～「7つのスペイン民謡」より (M.de フェリャ)
アリア ～「ブラジル風バッサ第5番」より (H.ヴィラ=ロボス)
我が悩み知り給う (黒人霊歌)
与那国シヨンカネ (沖縄民謡) 他

日西芸術交流事業

砂川稔 (国立音楽大学名誉教授) 監修

Soprano & Guitar

「歌と花の溢れる未来の街」という問いかけ

歌からはじまる国語を持つ日本という国。
歌は、感情のほころび、ことばという祈り…。
言葉で伝えること、言葉で人の心を和げること、弓をひかないこと…、
何より大切なことと、…。
花は、^{いと}愛しい^もという^{あらわ}こころの現れ。
心に花が咲き、人は生きる力を得ます。
愛しいという感情が、絶望から希望へと人のこころを運ぶのです。
生きる道ですべてを失う時、人のこころの遠いどこかで、歌がなり、花が咲きます。
焦土と瓦礫の前に起こる感情は、絶望から、愛しいという感情を探すこころ…。
絶望の淵で、人は、花と歌を探します。

探して下さい、歌と花を。
人のこころの奥深く咲く、愛しいという花を。
闇の中に、歌がなり、花が咲けば、闇は終わり、やがて希望という明日が訪れます。

隣人の心の闇の中で、歌となり花となれば…。
^{やわらぎ}平和 (やわらぎ) という言葉から生まれる未来の街角で再会を果たすために。
words by Aya



Rie Inami
稲見 里恵 (ソプラノ)

国立音楽大学卒業、二期会オペラスタジオ修了。砂川稔氏に師事。オペラ「智恵子抄」智恵子役をはじめ多数、オペラに出演。土屋財団の助成を受け歌曲集「智恵子抄」全曲演奏のほか、毎年リサイタルを開催する。近年、スペイン歌曲の演奏に意欲的に取り組んでいる。読売・日本テレビ文化センター講師、日本演奏連盟会員、二期会会員。



Gen Akashi
明石 現 (ギター)

2004年ノーベル文学賞作家ヒメネスの財団より招聘を受けスペインで公演。2006年カンタブリア州政府招聘でギタリスト J.カンドゥエラと共演。2007年日西芸術交流事業「Festival de Una Flor・スペイン」で音楽監督を務める。現在、国内外問わず活躍中。千葉明德短期大学講師。NPO法人 The Blest Council 理事。

■お問い合わせ■ [主催] NPO The Blest Council (ザ・ブレスト・カウンシル)
Tel&Fax: 0428-21-4038 携帯: 090-1456-9016 E-Mail: ayajp@df.mbn.or.jp

[後援] スペイン大使館 Embajada de España



コンサート・シリーズ
『歌物語り』